

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	県立特別支援学校 北勢きらら学園
取組の名称	非常食体験
実施時期	令和元年10月24日
取組内容	<p>本校の給食は、5段階に分けられています。「ごっくん（離乳初期）食」「もぐもぐ（離乳中期）食」「かみかみ（離乳後期）食」「ぱくぱく（完成期）食」「普通食」の5つです。また、地震等の災害に備え、每学期初めに、保護者からは3日分の非常食・水・食器等を学校に持ってきてもらっています。</p> <p>10月24日は、地震発生を想定した避難訓練を行いました。今回は食堂からの避難について体験し、様々な課題を検証することとなりました。しかし、避難訓練の時間帯は、食堂ですでに配膳が始まっている時間帯となるため、衛生上問題があります。そのため、この訓練を行うためには、給食を中止しなければなりません。そこで、今回の避難訓練では、昼食を非常食で対応しました。子どもたちにとっても実際に持ってきている非常食を体験してみる良い機会と考えました。</p> <p>事前に湯煎する食品は、誰のもので何分湯煎するか等を紙に記入して準備しておき、当日に調理員さんに温めてもらいました。お湯を入れるものは、教員が入れ、時間を計り、その生徒が食べることができる適温まで冷ましました。下の写真はその時の生徒の非常食です。生徒が持参した紙皿が持ちにくいものがあり、持って食べることに苦戦している場面がありましたが、保護者が選んだ非常食だったので、残さず食べるできていました。食事の様子は保護者に伝え、今後の非常食準備の参考にしてもらいました。また、ゴミはすべて持ち帰ってもらいました。</p> <p>体験を通して、いざという時のために生徒も教員も備えることができました。</p>
	 